#### 兵庫県議会・政務活動レポート

# 県政PRESS

ケンセイプレス ー

### 兵庫県議会議員

## 村岡まゆこ

2021.08 夏特別号

発行:兵庫県議会議員村岡まゆこ 〒673-0413三木市大塚2-1-51 TEL 0794-82-3313/FAX 0794-82-3355 経歴: 1978年8月6日生(43歳)/別所中・小野高校・立命館大(法)・院(修士)/平成29年8月初当選(2期目)







# 6月定例会/[8月] 齋藤新知事就任

- 第354回定例県議会(6月定例会)が6月
- 1日から9日にかけて開かれ、緊急経済対策
- として延べ約2.380億円を加える6月補正
- 予算案等を可決しました。これは阪神・淡路
- 大震災直後に次ぐ規模で、ほぼ国の財源を

活用した編成が特徴です。

また、7月31日をもって5期20年にわたり 県政を牽引した井戸敏三知事が退任。8月 1日より、齋藤元彦新知事が就任し、兵庫県

政は新たな時代を迎えることになりました。

### 6月補正予算の主な事業(項目)

#### 【医療体制の充実】

- ワクチン個別接種促進への支援
- 時間外・休日のワクチン接種への医療従事者の派遣
- 県独自の大規模ワクチン接種会場を設置

#### 【収束後の地域経済の活性化】

- 感染予防防止協力金の支給
- 酒類販売事業者への月次支援金の支給
- ひょうごの清酒消費拡大キャンペーンの実施
- 県産農水産物の消費拡大キャンペーンの実施
- 地域観光への支援
- 宿泊事業者が感染拡大防止に取り組む費用を支援

#### 【生活安定事業】

- 子育で世代生活支援特別給付金の支給
- ひとり親家庭住宅支援資金貸付の実施
- つながりサポート型女性相談支援事業の実施
- 生活に困窮する大学生等への支援

## ↓農政環境常任委員会



#### 行財政運営方針見直し

県行財政運営方針の策 定から3年目の今年度、 財政フレームや取組を検 証し見直しに着手します。

県では平成11年度から の行財政改革で、平成30 年度には収支均衡等を達 成しました。

一方、震災関連県債の 償還が残る中、コロナ禍

の影響で令和2年度から 県税収入が大幅に減少し、 総額330億円の収支不 足が生じる見込みです (令和4~9年度)。

見直しでは各種事業の 在り方等を7月まで検証 し、県議会に特別委員会 を設けて、来年度末頃の 方針取りまとめをめざしま す。

#### 代表質問

福島 茂利 議員(神戸市兵庫区)



- 新ビジョン策定に向けて
- 今後における兵庫県の経済雇用状況 の改善に向けて
- 今後のコロナ禍における医療体制の整 備や看護師の負担軽減について 他

#### ·般質問

山本 敏信 議員(高砂市)



←7/30自由民主

党議員団に退任挨 拶に来られた井戸

- 参画と協働の取り組みについて
- 行財政構造改革と新しい条例に基づく 3年目の見直しについて
- 創造的な改革の絶えざる推進に向けて 他

## 兵庫県議会

新議長



藤本百男議員 (加東市)

正副議長の改選 新副議長



谷口俊介議員 (神戸市西区)



→8/2自由民主党 議員団に就任挨拶 に来られた齋藤元 彦新知事



敏三知事

#### 自由民主党議員団 新執行部

幹事長 小西降紀(丹波篠山市) 副幹事長 伊藤 傑 (神戸市須磨区)

副幹事長 門間雄司(豊岡市) 長瀬 猛 (神戸市東灘区) 副幹事長

浜田知昭(洲本市) 政調会長

政調副会長 福島茂利(神戸市兵庫区) 政調副会長 富山恵二(相生市)

政調副会長 松本裕一(加古川市)

## ▶ 県政報告

#### 【ポストコロナ】世界を視野に入れた地域創生

- ◎ 大阪・関西万博を見 据えた観光基盤の強化
- ① ゴルフツーリズム
- ② サイクルツーリズム
  - →「山田錦の里ロングライド
  - コース」に吉川町追加を実現。
- ③ 五国の魅力発信
  - →三木金物等、万博での五国 の魅力発信をめさず。
- ④「山田錦テロワール回廊」
- →北播磨各地域の<mark>山田錦テ</mark>
- ロワール群の周遊ルートの構 築を図る。



↑山田錦の里ロング ライドコース(変更後)

#### 【持続可能な社会】全世代型安心社会の実現

- ◎ ユニバーサル社会づくりと障害者福祉の推進
- ◎ 医療確保対策(医療提供体制)の整備
- ◎ 就学前の教育・保育の充実
- →保育所や認定こども園の整備等の促進
- →医療的ケア児保育支援事業
- →子育て支援のための拠点施設整備 事業等、他
- ◎ 放課後児童クラブ整備補助事業等
- ◎ 幼児教育・保育の無償化等
- ◎「子ども食堂」応援プロジェクト事
- 業(ふるさとひょうご寄附金を活用)
- ◎ 国民健康保険事業の健全運営
- →三木市は赤字削減・解消計画策定対象市の

#### 【県事業】三木市内における主な県事業の状況

- ◎ 動物愛護センターの改装
- :三木支所等
- →啓発交流スペース、動物
- ふれあいルーム、猫飼養室・処置室の設置。
- ◎(主)三木宍粟線高木末広バイパス
- →かじや橋完成、令和3年12月全面供用開始予定。
- ◎ ひょうご情報公園都市の未開発区域の整備
  - →令和3年5月24日、役割分担に関して、<br/>
    企業庁と
- 三木市との間で基本合意書締結。
- ◎ 県立総合射撃場(仮称)の整備
- →令和3年7月、<mark>公募型一般競争人</mark>
- 札「敷地造成・整備工事」の実施。



#### 【教育】県立高校の適正規模・中学校部活動

#### ◎ 次期県立高等学校教育改革実 施計画の策定



- →魅力ある高校のあり方や<mark>学校</mark>
- の適正規模・配置等について実 施計画を策定。

↑【参考】ひょうご未来 の高校教育あり方検討 委員会報告書(PDF)

#### ◎ 中学校部活動の地域移行検討事業の実施

→国の部活動改革の方針(令和5年度から休日部

活動が段階的に地域に移行)もあり、地区特性に 応じた地域スポーツクラブ等の運営主体団体の休 日指導体制を整え課題を検証(※)。

## 問題提起·政策提言·課題抽出

## 部活動

#### <u>中学校部活動と地域スポーツクラブ・文化団体等の在り方(※)</u>

学校部活動の維持・充実が困難になる中で、拠点校方式等の活用の検討を提言して きました。県も中学校部活動の地域移行検討事業を実施予定ですが、学校部活動や地 域スポーツクラブ・文化団体の在り方を本格的に検討する時期を迎えていると考えます。

## 県市協調

#### 県市協調事業の課題:市町の随伴補助の壁(2021.8.2時点)

県事業の中には、市町も任意もしくは義務で、県に随伴して(一緒になって)予算を計 上して補助を行う事業があります。しかし、市町によっては、予算編成の課題もあり、<mark>県に</mark> **随伴できず、事業が実施されないケースもあり、県民サービスの提供上の課題です。** 









- ① 三世代同居対応改修工事推進事業(三木市を含む随伴補助予定市町なし)
- :家族の支え合いにより、在宅における子育てがしやすい環境を整備するため、令 和3年度より新たに三世代同居の実現に資する改修工事を実施する者に対し、そ の改修工事費の一部を補助。



:がん治療による脱毛や乳房切除等を補完する医療用ウィッグや乳房補正具等の 購入費の一部を支援。







2021.7.16 農政環境常任 委員会(録画)









【市政への意見】 市長メール→ (市役所宛て)

